

第2号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）
事業計画（変更計画）書

平成25年 6月29日

1 実施主体

(1) NPO法人等が申請する場合

NPO法人等 (実施主体)	種別及び名称	『福島県全59市町村ギネス世界記録挑戦PROJECT』実行委員会		
	住所	神奈川県茅ヶ崎市浜竹4丁目3-2 サン・フォレット B-106		
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称		担当者名	
	住所		電話番号	
会議体に参画 する行政	名称及び部課名		担当者名	

(2) 協議体が申請する場合

協議体の名称				
代表構成員の団体名 及び代表者職氏名				
構 成 団 体	都道府県・市区町 村名及び部課名		事業における 役割	
	民間非営利組 織の種別・名称		事業における 役割	
	住所		電話番号	

2 事業概要

事業名	福島県全59市町村ギネス世界記録挑戦事業
総事業費	7,510,000円（うち希望補助金額 6,538,000円）
事業の実施期間	補助金の交付の決定があった日から平成26年3月31日まで

注：補助対象期間は補助金の交付決定日からとなります。

3 事業計画

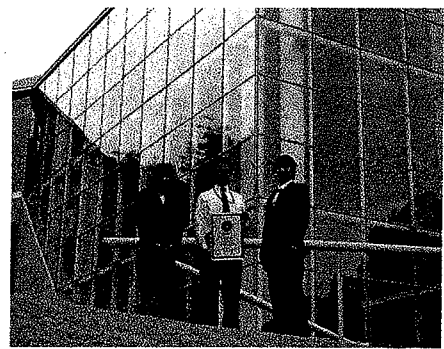
地域における 課題と事業の 目的	<p>【地域における課題】</p> <p>2011年3月に発生した福島第一原子力発電所の事故により、福島県内は放射性物質の被害に遭い、数万人の避難者を出している。確かに被害は深刻なものであったが、報道のフォーカスが悲惨な状況に集中したた</p>
------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

め、正しい県内の状況が伝わらなかった。そのため、日本だけでなく海外からも「福島県すべてが放射能に汚染されている」、「フクシマは世界最悪の場所だ」といった、誤った認識及び不当な評価がなされ、震災後2年を経過した現在、それが固定化され始めている。そういった県外からの反応により、県民もふるさとに対する“自信”や“誇り”を失い、閉塞感が広がることにより、もはやあきらめに似た感情を持ち始めている。そのため、県外避難者の県内への帰還が進まず、またこれまで県内に住んでいた住民の県外への流出も止まらず、福島県全体の空洞化が進行している。

【事業の目的】

本事業の目的は、「福島県民のふるさとに対する“自信”と“誇り”を取り戻す」ことである。

そのために、前年度実施した『世界最大のおむすびアート PROJECT』の成功を元に事業をさらに発展させ、これまで以上に福島の魅力ある人・物・場所を発掘し、それらを県外・海外に発信する。それにより、福島が原発事故だけでなく、多くのすばらしいものがあることを再認識してもらおう。また、ふるさとの魅力の再発見及び県外からの再評価により、県民のふるさとに対する“自信”と“誇り”を取り戻す支援を行う。また、来年度以降の事業運営に向け、福島県の人材を中心とした組織づくり及び人材育成を行う。



今年3月11日に渋谷で実施した『世界最大のおむすびアート PROJECT』メインイベントの様子。(左：福島民報社の記事(2013.03.12)より)

来場者と一緒に、福島県産米を使用したおむすび31,100個で『世界最大のおむすびアート』を制作。

デザインは、中央に今年のNHK大河ドラマの主人公「新島八重」と「鶴ヶ城」、周囲に全都道府県の名物のキャラクターが手をつないでいる。両脇に「日本全国を結び」「みんなで福島を応援!!」のメッセージ。

先日、『世界最大のおむすびアート』が、ギネス世界記録に認定された。(右)

<p>事業の目標</p>	<p>[1]喜多方市をはじめ、福島県内で特産品を使ったギネス世界記録挑戦イベントの実施（2件以上）。</p> <p>[2]来年度以降の福島全県への展開に向けた、地域調査。（20市町村以上）</p> <p>[3]来年度以降に向けた組織づくり及び人材育成（10名以上、NPO等の法人化）。</p>
<p>事業内容</p>	<p>[1]喜多方市をはじめ、福島県内で特産品を使ったギネス世界記録挑戦イベントの実施（2件以上）。</p> <p>【事業内容】</p> <p>前年度実施した『世界最大のおむすびアート PROJECT』で得た経験を生かし、福島県内で、各地の特産品を使ったギネス世界記録挑戦イベントを実施する。喜多方市を起点にする理由は、『世界最大の…』に協力いただいた喜多方市の皆さまと、すでに親密な関係が構築されており、効率的な運営及び今後に向けた成功モデルの構築が、他地域より期待できるからである。</p> <p>喜多方の特産品においては、「喜多方ラーメン」が全国的に知られているが、清涼な飯豊山系の伏流水から作られた高品質の米や、その米から生まれた日本酒や米菓など、あまり有名ではないが素晴らしいものを見つけることができる。喜多方以外にも県内に魅力あるものは多数あり、その中から福島県産のものとして誇れるものを選び、ギネス世界記録に挑戦する。それを通じて県外に福島の魅力を発信し、誤った認識及び不当な評価を覆すことを狙う。</p> <p>現時点では、お米を使ったギネス世界記録は喜多方市農業委員会会長の原源一氏と、喜多方ラーメンを使ったギネス世界記録は会津喜多方青年会議所及び株式会社河京（本社：福島県喜多方市、http://kawakyo.co.jp/product/index.html）と、それぞれ挑戦に向けた検討を進めている。</p> <p>【実施時期】</p> <p>平成25年6月～平成26年3月31日（来年度以降も継続予定）</p> <p>（イベントの実施は、平成25年11月～3月を予定）</p> <p>【実施場所】</p> <p>福島県喜多方市及び県内の他市町村</p> <p>【参加予定人数】</p> <p>10,000人</p> <p>【その他】</p> <p>現時点においては、第13回蔵のまち喜多方冬まつり（2月16～24日）、第12回全国グリーン・ツーリズムネットワーク福島大会（11月14～16</p>

日)、ふれあいきたかた農業まつり（11月）等での実施を予定している。

[2]来年度以降の福島県への展開に向けた、地域調査。（20市町村以上）

【事業内容】

前年度に開始した『世界最大のおむすびアート PROJECT』から続く、福島県全59市町村の特産品を使ったギネス世界記録挑戦にむけ、福島県内の調査を実施する。現地での聞き取り調査、公募等を行い、来年度以降の候補を選定する。その際、可能な限り保存のできるものとし、後日観光資源としても利用する。

【実施時期】

平成25年4月1日～平成26年3月31日（来年度以降も継続予定）

【実施場所】

福島県内の市町村

【調査対象自治体】

20市町村以上

[3]来年度以降に向けた組織づくり及び人材育成（10名以上）。

継続的な事業実施に向け、福島県内において組織づくり及び人材育成を行う。

『世界最大のおむすびアート PROJECT』では、大学生を主体として活動をしてきたが、特に福島県外の学生は当事者としての意識が薄く、運営に支障をきたすことが時折あった。そこで、その反省を生かし、被災者としての当事者である福島県内の人材、特に青年会議所及び商工会議所青年部等の若手の人材を中心に組織づくりを行う。現時点では、会津喜多方青年会議所と検討を進めている。



また、人材育成のため、地域活性化・産業振興等の外部専門家による研修を実施する。さらに、来年度以降のNPO等の法人化をめざす。

【実施時期】

平成25年7月～平成26年3月31日（来年度以降も継続予定）

【実施場所】

	<p>福島県内の市町村</p> <p>【人数】 10名以上</p>
<p>見込まれる成果</p>	<p>1. 本県の復興支援・被災者支援の観点</p> <p>【直接的効果】 イベントの実施及び各種メディアでの紹介により、福島県民（特にイベント参加者）のふるさとに対する“自信”や“誇り”を取り戻すことができる。</p> <p>【波及効果】 イベントが各種メディアで取り上げられることにより、県外・海外での福島県に対する認識が変わり、再評価されることが見込まれる。 それに伴い、農・水産物の風評被害が払拭されることによる取引価格の回復や、観光客の増加等が期待される。 また、ギネス記録に認定されたものは可能な限り保存し、保存したものを観光資源として一般開放することで、観光客の増加につながる</p> <p>2. 取組実施主体の運営力強化の観点</p> <p>前年度の『世界最大のおむすびアート PROJECT』とは異なり、被災者自身が活動の中心となることで、当事者意識が働き、各スタッフによる自主的な運営が期待できる。 また、すでに話を進めている会津喜多方青年会議所以外にも、福島県内の青年会議所及び商工会議所青年部等の若手かつ組織力のある人材をスタッフとすることで、来年度以降の福島全県での活動にむけ、実行力のある組織づくりが見込まれる。また、人材育成のため、地域活性化・産業振興等の外部専門家による研修を実施、来年度以降の NPO 等の法人化を予定する。</p>
<p>事業スケジュール</p>	<p>平成 25 年 6 月～</p> <p>【準備期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喜多方市、観光協会、商工会議所、青年会議所等との連携確認 ・全国グリーン・ツーリズムネットワーク福島大会との連携確認 ・ギネス世界記録挑戦内容の選定 ・ギネスワールドレコーズへの申請 ・イベント内容の検討 ・会場設営等のイベントに必要な業者への委託 <p>平成 25 年 11 月～ 2 月</p> <p>【全国グリーン・ツーリズムネットワーク福島大会等にてイベント実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、福島県産米と喜多方ラーメンを使ったギネス記録挑戦を予定 <p>平成 26 年 12 月～</p> <p>【福島県産の商品 PR 及び来年度以降の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの結果を活用した特産品の PR ・連携が期待できる自治体、企業、団体の調査 ・ギネス世界記録挑戦に適した特産品の調査 <p>平成 26 年 2 月～3 月 31 日</p>

	<p>【報告書の作成】 ・報告書の作成</p>
<p>事業実施体制</p>	<p>【実施主体】 『福島県全 59 市町村ギネス世界記録挑戦 PROJECT』実行委員会</p> <p>【代表】 酒部 美希 【副代表】 中野 博正 【会計】 宇内 洋幸 【監事】 中野 拓実</p>
<p>事業終了後の展開</p>	<p>来年度以降は、さらに組織を強化し、喜多方市にとどまらず福島県全市町村に活動を展開していく。 また、事業展開に合わせて、活動そのもののブランド化を行う。同時に、新たな商品の開発を行い、イベントで使用した特産品に共通のブランド価値を加えて、福島県産の商品のイメージ向上をめざす</p>
<p>事業の先進性・普及性</p>	<p>『福島県全 59 市町村ギネス世界記録挑戦 PROJECT』では、福島県の全市町村で各地の魅力を再発掘し、ギネス世界記録に挑戦する。これにより、福島県が世界で最も魅力的な土地であることを再発見することで、福島にふるさとを持つ方に“自信”と“誇り”を取り戻すことができる。これは、他の企画では困難なことと思われる。 また、前年度実施した『世界最大のおむすびアート PROJECT』とは異なり、主なスタッフとして福島県在住の人材を選ぶことで、当事者として今後の福島に対し自主的に考え、当事業の発展に寄与するものとする。さらに、今年度の事業の中で、イベント活動のモデルを構築することで、来年度以降の他自治体への展開を強力に推進する。</p>
<p>特記事項</p>	<p>【『世界最大のおむすびアート PROJECT』について】 前年度は、「地域づくり総合支援事業（地域協働モデル支援事業）」に採択していただき、支給していただいた補助金は『世界最大のおむすびアート PROJECT』の主な運営資金として活用させていただいた。</p> <p>今年 3 月 11 日に実施した『世界最大のおむすびアート PROJECT』メインイベントでは、単独実施の物産展等と異なり、「ギネス世界記録挑戦」、「講演」・「パネル展示」、「物産展」の 3 つを同時に実施することで、「人を集める」、「福島県産の農・水産物の安全性について知ってもらおう」、「福島の商品を買ってもらおう」という 3 つのテーマを一つのイベントで達成することができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>来場者と学生スタッフが一緒に「おむすびアート」を制作。（左） イベント会場では、「おむすびアート」に使用した福島県産コシヒカリを販売。（右）</p>

イベントには多くの方に来ていただき、31,100個のおむすびを、福島県産のお米を使用していると認識した上で、全て受け取っていただいた。



「おむすびアート」で使用したおむすびの配布を待つ行列。(左)

受け取ったその場で、おむすびを召し上がる方もいた。(右)

イベントの様子は、さまざまなメディアに取り上げていただき、多くの方に福島県の風評被害について関心を持っていただくことができました。

イベント後、『世界最大のおむすびアート』は、ギネス世界記録に認定された。さらに、私たちの活動が Guinness World Records にも評価され、【今年ももっとも素晴らしいギネス記録】(FAN CHOICE RECORD)の候補に選定された。

NHK ONLINE

各地のニュース

首都圏のニュース

おにぎり3万個で福島励ます絵



東日本大震災から2年となる11日、東京・渋谷では、福島県産のお米で作ったおにぎり3万1100個を用いて、福島を励ます絵を描く催しが開かれました。

この催しは、福島県産の農産物の消費促進につなげようと、渋谷区役所前の広場で慶応大学と福島大学の学生で作るグループが企画しました。

おにぎりは福島県喜多方市で生産されたのが1700キロを使い、3月11日にあわせて3万1100個が作られました。そして学生や訪れた人たちがのりを巻くなどして、6つの色がつけられたおにぎりを、正さが11.4平方メートルある台座の上にひとつずつ並べられました。絵は3時間ほどで完成し、「日本全国を結び」「みんなで福島を応援」というメッセージや、NHKの大河ドラマの主人公福島ゆかりの新島八重の姿が浮かび上がりました。主催した慶応大学大学院の酒部英伸さんは「福島の人たちが苦しまなくて済むようにみんなが何かできるかを考えるきっかけにして欲しいです」と話していました。

03月11日 17時41分

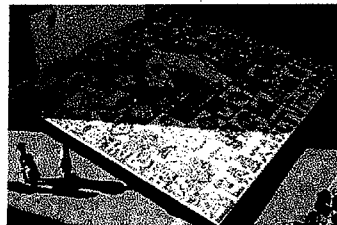
NHK、毎日新聞、河北新報、福島民報等、10社以上のメディアで紹介された。(左)

『世界最大のおむすびアート』が、【今年ももっとも素晴らしいギネス記録】(FAN CHOICE RECORD)の候補に選定された。(右)

「今年ももっとも素晴らしいギネス記録」は、毎年ファン投票によって年末に今年一番のギネス記録を決定する。ギネスワールドレコーズには、毎週1,000件以上の申請があるが、この「今年ももっとも素晴らしいギネス記録」の候補に選ばれるのは、毎週わずか5件のみと、全申請数の0.5%以下である。

震災以降、被災地で多くの復興を支援するギネス記録挑戦が行われたが、この候補に選ばれたのは、『世界最大のおむすびアート』が“初”である。

Largest rice ball mosaic



Record: 113.98 m² (1,226.65 ft²)

Holder: World's Largest Rice Ball Mosaic Art Project (Japan)

Location: Shibuya Public Hall, Japan

That's not all. The image consisted of 31,100 organic rice balls in six different colors. Organizers stated they attempted the record to raise awareness of the suitability of rice from the Fukushima region of Japan, in which a nuclear power plant infamously exploded after an earthquake struck the nation in March 2011.

And those are your nominees for this week's Fan Choice - time now to cast your vote!

There are two ways to do this, including right here by choosing in our poll

What is your pick for this week's Fan

	このように、私たちの活動は、国内だけでなく海外からも高い評価を受けている。
--	---------------------------------------

※用紙が足りない場合は、適宜追加してください。

※地域社会にとっての必要性（ニーズ）について確認できる資料（新聞の切り抜きやアンケート結果等）がある場合は、A4用紙1枚（両面可）に限り添付できます。

第3号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）
収支予算書

申請者名 福島県全59市町村ギネス世界記録挑戦PROJECT実行委員会 代表 酒部 美希

【収入の部】

（単位：千円）

区 分	平成 25 年度 予 算 額	明 細
ふるさと・きずな維持・再生 支援事業補助金	6,538	
自己資金（負担者名）	972	
【福島県全59市町村ギネス世界記録挑戦 PROJECT】実行委員会	972	協賛金・寄付金
事業収入	0	
その他収入	0	
収入合計	7,510	

【支出の部】

（単位：千円）

区 分	平成 25 年度 予 算 額	明 細
人件費（共済費を含む）	2,158	【事務局メインスタッフ】 時給 664 円×40 時間×9 か月×5 人=1,195,200 円 【事務局サブスタッフ】 時給 664 円×15 時間×9 か月×6 人=537,840 円 【イベント当日スタッフ】 時給 664 円×8 時間×1 日×40 人×2 回=424,960 円
報償費	252	【講師謝金（研修）】 1 回 28,100 円×9 回=252,900 円
旅費	888	【交通費（神奈川-福島（喜多方、福島、郡山、いわき等）】 1 回 10,000 円×2（往復）×2 回×9 か月=360,000 円 【宿泊費（調査）】

2,158,000

		1回 6,000円×2泊×6回×5人=360,000円 【宿泊費（イベント準備）】 1回 6,000円×14泊×1人×2回=168,000円
需用費	496	
消耗品費	136	【消耗品（用紙、インク等）】 1月 15,200×9ヶ月=136,800円
燃料費		
印刷製本費	360	【チラシ印刷】 80,000円（B5・両面・30,000枚）×2回=160,000円 【ポスター印刷】 100,000円（A0・片面・10枚）×2回=200,000円
役務費	822	
通信運搬費	90	【電話代】 1月 10,000円×9ヶ月=90,000円
手数料	679	【郵便代】 1月 6,000円×9ヶ月=54,000円 【ギネス世界記録申請費用】 125,000円×5回=625,000円 注1：申請しても、必ず希望どおりの内容が認められる訳ではないため、複数回の申請が必要。 注2：『世界最大のおむすびアート PROJECT』の際は、すでに審査を通過していたため、計上していない。
保険料	53	【損害保険料】 26,500円×2回=53,000円
使用料及び賃借料	852	【会場使用料】 300,000円×2回=600,000円 【サーバ等レンタル料】 20,000円×9か月=180,000円 【福島県内移動費（レンタカー代等）】 1回 6,000円×2台×6回=72,000円
委託料	2,042	【会場設営他】 ・会場設営

		<p>400,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ステージ装飾 (一式) 130,000 円 ・ ゴミ箱 1 個 400 円 × 10 個 = 4,000 円 ・ のぼり棒、のぼりスタンド 1 セット 500 円 × 30 セット = 15,000 円 ・ のぼり旗製作 (4 色) 1 枚 4,000 円 × 30 枚 = 120,000 円 ・ 看板製作 1 枚 15,000 円 × 6 枚 = 90,000 円 ・ のぼり、看板用データ製作 (一式) 10,000 円 ・ スタッフジャンパー 1 枚 300 円 × 40 枚 = 12,000 円 ・ メガホン 1 台 2,000 円 × 5 台 = 10,000 円 ・ ビデオカメラ 1 台 25,000 円 × 2 台 = 50,000 円 ・ 配達回収、設営撤収費 (一式) 180,000 円 <p>◇小計 1,021,000 円</p> <p>■合計 1,021,000 円 × 2 回 = 2,042,000 円 (※会場設営にかかるものは、全てレンタル)</p>
支出合計	7,510	

注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。

注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。

注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の使途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、使途の区分が分かる資料を添付すること。

